

生雲小学校で森林体験学習を実施しました

令和6年11月22日（金）、山口地区林業研究グループ連絡協議会等の主催で「森林と林業について学ぼう」をテーマとして、山口市立生雲小学校の5、6年生児童4名を対象に森林体験学習を実施しました。

当日は、まず始めに地元生雲地区で林業用苗木を生産しておられる山口県指導林業士・中原さんの苗畑を見学しました。

児童らは、多くの手間や苦勞の末に苗木が生産されていることに感心していました。見学の最後に児童らは、ヤマザクラの苗木2本を苗畑から掘り取りました。

その後、林業作業の現場へと移動しました。現場では山口県中央森林組合の御厚意により高性能林業機械を駆使して間伐材を搬出している状況を見学しました。

児童らは、スギやヒノキがハーベスタによって伐倒・採寸・玉切りされ、フォワーダによって搬出される一連の様子を見て、林業に対する概念が変わったようでした。

そして最後に、やまぐち森林づくり県民税事業により実施した繁茂竹林伐採施行地に移動し、苗畑から掘り取ったヤマザクラ2本を児童ら自ら、植栽しました。

なお、植栽地は生雲小学校から徒歩で行けるほどの至近距離です。

児童らは、林業の始発である苗木の生産、利用期を迎えた木材の伐採・搬出、繁茂竹林からの森林再生（植樹体験）など、この森林体験学習から多くのことを学びました。

植栽したヤマザクラがすくすくと成長し、満開の花を咲かせる頃、森林体験学習のことを思い出して、森林・林業の担い手・支援をしてくれたら幸いです。



苗畑の見学



搬出間伐の見学



植樹体験